

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”
～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

総合型地域スポーツクラブ先進地視察！

11月28日（火）に、福岡県体育協会の先進地視察事業として、福岡教育事務所管内で総合型地域スポーツクラブの創設を検討している4市町のクラブ関係者とともに、県内において先進的に活躍している2つのクラブの視察に行きました。

総合型地域スポーツクラブとは、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブです。県内には、78のクラブが存在し、福岡教育事務所管内においては、12クラブが創設されています。

【NPO 法人しいだコミュニティ倶楽部（築上郡築上町）】

平成17年3月に「とにかく、やれることからスタートして、そこから広げていこう」を合言葉に創設された「しいだコミュニティ倶楽部」。定期教室、年間イベント、築上町の受託事業等、町の協力を得ながら、様々な活動を展開しています。視察した午前中は、ピンポン教室が行われていました（写真）。主な参加者は高齢者で、レクリエーションが目的の方、競技レベルの上達が目的の方に分かれて、教室



【ピンポン教室の活動の様子】

が仕組みられていました。卓球に熱中する会員の方々の姿が印象的でした。その後、クラブマネージャーや事務局員の方、支援を行っている築上町教育委員会からクラブの設立や運営に関する説明を受けました。会員のニーズにできる限り応えることができるようにすること、スタッフの方々が一丸となって運営に取り組んでいることが伝わってきました。

【NPO法人春日イーグルス（春日市）】

春日イーグルスは、昭和61年4月に設立された歴史あるクラブです。平成29年9月末現在、1,000名を越える会員が所属しています。サッカー、バドミントン、走り方教室、3B体操などの種目があり、競技志向の会員だけでなく、レベルやニーズに応じて楽し



【サッカークラブの活動の様子】

む会員さんも受け入れる仕組みをつくっています。視察では、まず、事務局やミーティング室として活用されているクラブハウスを案内してもらい、その後、理事長兼クラブマネジャー、スタッフの方から、クラブについての説明を受けました。話の中では、運営にあたって心がけていることだけでなく、苦労話や運営上の失敗談など、本音の部分についても聞くことができ、参加者も熱心にメモをとりながら耳を傾けていました。最後に、その日の夕方に行われていたサッカークラブを視察しました（写真）。子どもたち一人ひとりを、笑顔でハイタッチで迎える指導者の方々からクラブチームの温かい雰囲気伝わりました。

2つのクラブの方々共通して言われていたことは、「人とのつながりを大切にする」「焦らず、身の丈に合ったことを少しずつ積み上げていく」ということでした。視察した中でそれぞれの参加者が得たことを今後、クラブの設立の糧にできたらと思います。